

# 特集 新規参入サポ-ト企業

## 付加価値提案に「企画開発室」の存在

### 東洋ビューティ



沢田氏

化粧品・医薬部外品のE M / O D Mの東洋ビューティは、約80名体制で安全・安心に裏打ちされた機能訴求の研究開発を強化する一方、大阪のイノベーションセンターを融合させた化粧品づくりを推進している。

企画開発室には、商品の設計・デザイン、処方開発など最終製品化までの過程で求められる各専門分野に特化したスタッ

フが在籍。研究や営業など各部署と連携し、既存顧客のシリーズ・ライン

の改良や拡張、新規顧客の企画開発のサポート業務を行っている。

問い合わせ内容は様々だが、異業種からの新規参入を目指す企業の場合、

チームやトレンド感のあるカテゴリー製品であることも多く、東京支店・企画開発室の沢田真男係長は「商機を逃したくない」という意向が強く、スピード感のある対応が求められている」と強調する。そこで同社では、必要に応じて企画開発スタッフが営業に同行することもある。例えば、企画開発出身の沢田氏であれば、問い合わせ時の情報を元に、初回訪問時から処方サンプルを使った具体的な商品化の話を進めることが可能だ。